



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月6日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,554	15.8	298	61.8	320	55.9	215	51.4
30年3月期第1四半期	2,207	2.2	184	47.8	205	47.6	142	54.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.98	
30年3月期第1四半期	11.88	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	14,675	10,596	72.2	887.71
30年3月期	14,640	10,570	72.2	885.49

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 10,596百万円 30年3月期 10,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	9.6	610	31.0	630	32.2	430	34.9	36.02
通期	10,000	2.9	1,070	3.7	1,100	2.3	760	1.1	63.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	12,135,695 株	30年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	199,527 株	30年3月期	199,292 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	11,936,224 株	30年3月期1Q	11,936,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(貸借対照表関係)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、引続き外需堅調による企業収益は改善傾向にあり、雇用情勢・個人所得の増加等による消費回復の中、先行きには原油高によるコスト増及び米国の通商政策などの懸念材料等あるものの、緩やかではありますが回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、主力のセラミックス事業は、引き続き電子部品業界の好調をうけ受注・販売ともに堅調に推移いたしました結果、売上高は前年同期比10.1%増収の1,941,743千円となりました。一方エンジニアリング事業につきましても昨年度終盤から受注面の改善が見られたこともあり、前年同期比38.0%増収の612,704千円となりました。結果当第1四半期の売上高合計は、前年同期比15.8%増収の2,554,448千円となりました。

損益面につきましても、セラミックス事業で依然として工場稼働率は高水準を維持しており、エンジニアリング事業も損益面で若干の改善が見られたことにより、営業利益は前年同期比61.8%増益の297,711千円となり、経常利益は前年同期比55.9%増益の320,250千円、四半期純利益も51.4%増益の214,605千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、流動資産で売掛債権が減少しましたが、現預金及び棚卸資産の増加により前期末比1.4%増加となり、固定資産が有形固定資産及び投資有価証券の減少により前期末比1.5%減少したため、資産合計では前期末比0.2%増加の14,675,381千円となりました。

負債につきましては、流動負債で未払金、営業外電子記録債務が増加しましたが、賞与引当金の取崩により前期末比横ばいとなり、固定負債が繰延税金負債の増加により前期末比2.1%増加したため、負債合計では前期末比0.2%増加の4,079,570千円となりました。

純資産は、内部留保の蓄積による利益剰余金の増加により、前期末比0.2%増の10,595,811千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成30年5月7日付「平成30年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」にて公表いたしました内容から変更はありません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,802,684	2,911,799
受取手形及び売掛金	3,621,910	3,532,764
有価証券	100,014	100,014
商品及び製品	612,599	643,255
仕掛品	1,176,418	1,260,405
原材料及び貯蔵品	354,629	347,915
その他	35,643	28,685
貸倒引当金	△4,700	△2,400
流動資産合計	8,699,199	8,822,438
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,431,973	1,417,195
機械及び装置(純額)	1,083,481	1,080,914
その他(純額)	1,041,547	1,039,392
有形固定資産合計	3,557,002	3,537,502
無形固定資産	53,241	62,465
投資その他の資産		
投資有価証券	2,215,770	2,151,463
その他	114,756	101,511
投資その他の資産合計	2,330,526	2,252,974
固定資産合計	5,940,770	5,852,943
資産合計	14,639,969	14,675,381
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	405,954	426,752
買掛金	1,594,648	1,544,471
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	117,352	100,688
営業外電子記録債務	49,610	176,099
未払金	461,693	679,094
賞与引当金	275,000	137,500
役員賞与引当金	27,233	6,808
その他	297,444	157,500
流動負債合計	3,628,936	3,628,914
固定負債		
長期借入金	57,196	32,000
役員退職慰労引当金	136,399	142,057
資産除去債務	40,701	40,875
繰延税金負債	137,578	167,822
その他	69,556	67,900
固定負債合計	441,432	450,655
負債合計	4,070,369	4,079,570

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	7,480,654	7,552,022
自己株式	△86,771	△87,014
株主資本合計	9,940,061	10,011,187
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	629,539	584,624
評価・換算差額等合計	629,539	584,624
純資産合計	10,569,600	10,595,811
負債純資産合計	14,639,969	14,675,381

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,206,864	2,554,448
売上原価	1,689,603	1,902,244
売上総利益	517,260	652,204
販売費及び一般管理費	333,244	354,492
営業利益	184,015	297,711
営業外収益		
受取利息	337	366
受取配当金	18,271	19,147
その他	5,414	5,367
営業外収益合計	24,022	24,881
営業外費用		
支払利息	1,366	1,280
コミットメントフィー	750	750
その他	448	311
営業外費用合計	2,565	2,342
経常利益	205,473	320,250
特別損失		
固定資産廃棄損	480	7,578
特別損失合計	480	7,578
税引前四半期純利益	204,992	312,672
法人税、住民税及び事業税	17,000	48,000
法人税等調整額	46,226	50,066
法人税等合計	63,226	98,066
四半期純利益	141,766	214,605

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2014年以前の開発初期段階に納入いたしましたSNT-07ボールの一部に発生している品質上の不具合について客先と補償又は費用負担に関する協議をいたしております。現時点で金額を合理的に見積もることが困難であるため製品回収損失引当金については計上しておりません。なお、SNT-07ボールについては現在も継続的に納入しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,762,832	444,031	2,206,864	2,206,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,762,832	444,031	2,206,864	2,206,864
セグメント利益又は損失	201,403	△17,388	184,015	184,015

当第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,941,743	612,704	2,554,448	2,554,448
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,941,743	612,704	2,554,448	2,554,448
セグメント利益又は損失	299,004	△1,293	297,711	297,711